

コロナ感染拡大警報に伴う注意喚起について

県は昨日、沖縄本島圏域および宮古圏域で病床使用率が上昇しており、医療のひっ迫が懸念されていることから、コロナ感染拡大警報を発出しました。

期間は、令和4年5月13日～26日までの2週間となっております。本市の状況について、5月12日時点での新規陽性者数は122人で、直近1週間の陽性者数787人、人口10万人当たり1,421.24人となっております。県全体平均を大きく上回る状況が続いております。

また、5月12日時点の宮古圏域における病床使用率は66.7%、前週と比較しますと、13.6%増加となっております。これ以上、医療体制をひっ迫させないためにも、市民の皆様には、これまで以上に感染対策の徹底をお願いします。

医療提供体制を守り、また、社会経済活動を維持するためにも、以下の感染防止対策を徹底してくださるようお願いいたします。

* 高齢者の皆様はできるだけ同居家族以外の方と会うのを控え、同居家族は多人数との会食などのリスクの高い行動を控えてください。また、親戚、知人の方々は、高齢者の家を訪問したり、一緒に会食するのを控えてください。

* 子どもたちの感染を防ぐため、発熱、のどの痛み、鼻水などの症状がある場合は、通園、通学、外出を控えてください。

クラスで、陽性者が出た場合は、無症状であってもPCR検査の受検をお願いします。

*部活、学習塾、放課後児童クラブ等子どもたちの集まる場所では、換気を行う、マスク着用などの基本的な感染防止対策を徹底し、寄り道せずに帰宅させてください。

*高校生の生徒、アルバイトされている方なども、友人たちと集まらず、直帰してください。働いている方々におかれては、多人数との会食などのリスクの高い行動を控えてください。

*ワクチン接種により、発症予防・重症化予防効果が期待できます。

1、2回目の接種や3回目の接種をまだ受けてない皆様、早期のワクチン接種をお願いします。

GW後の子どもの感染拡大を抑制する取り組みについて

○沖縄県では、GW以降過去最多の陽性者数が記録され、年代別で最も多いのは10代となっています。

○子どもを守ることが、子どもから重症化リスクの高い高齢者への感染を防ぐことにも繋がります。

○5月末までに一定程度感染を抑え込めることができるよう、重点的に2週間(5/26まで)は子ども、保護者、関係者が協力して対策を実施していただきたい。

○学校や経済界、マスコミ等を通じて子どもを守るための対策・呼びかけを周知願います。

子どもを守るための対策・呼びかけ（6つの場面）

①登校時

○登校前に健康状態をチェックし、有症状時には登校を控える。

②教室・屋内では

○自宅以外の屋内ではマスクを着用する。

○風通しの悪いところでは長時間の会話を避ける。

③部活では

- 部室など室内ではこまめに換気し、マスクを着用する。
- 着替える際は順番を決めるなど部室で密にならない。
- 練習はいつものメンバーで行い、他校との練習試合は延期する。
(ただし抗原キットで陰性確認すれば可)

④学童・塾では

- 換気を徹底する。
- マスク着用、黙食など学校の教室に準じた対策を実施する。

⑤下校・帰宅時

- 学校や部活、塾が終わったらまっすぐ帰宅し、多人数での飲食はしない。

⑥自宅では

- 友達と家では集まらない。
- 同居家族も感染リスクの高い行動はしない。
- 療養に備えて市販薬、スポーツ飲料等の準備をする。

以上のことを踏まえ、市民一人一人が感染防止対策を徹底していただき、宮古島市の医療体制を市民一体となって守りましょう。